



# 三木高大 自治会新聞

令和元年 11 月号 (No.160)

発行 三木市高齢者大学学生自治会

発行責任者 自治会会長 松本 桂

編集者 自治会新聞編集委員会

発行日 2019(令和元)年 11月5日

<http://koureisyadaigaku.cccp.jp>

## 体育祭の報告

## 2年生 優勝!

令和元年 10 月 4 日(金)第 28 回体育祭が仲田三木市長をはじめ多くの来賓の皆様をお迎えして、令和時代最初の大会として三木市勤労者体育センターで盛大に開催されました。6月6日の第1回体育祭実行委員会から約4ヶ月の期間を費やして準備をしてきました。

最初の実行委員会で競技種目の見直しを行いました。実行委員の負担軽減、学生数の減少などの理由により昨年の体育祭の 12 種目より2種目(風船追いレース、ボウリングゲーム)を減らし 10 種目としました。また例年の三木音頭からフォークダンスに変更しました。

応援タイムでは各学年いろいろと工夫をされ、短い時間にも関わらず、大いに盛り上げていただきました。

さて、競技では種目を減らしたことも関係したかもしれませんが、各種目接戦、最後の紅白玉入れゲームでは4学年が同点、この競技で優勝がきまるという大接戦となり大いに盛り上がりました。優勝した2年生の皆さん、おめでとうございます。また、1点差で涙を呑み準優勝となりました3年生の皆さんはよく健闘されました。1年生も初めての体育祭で3位と大健闘されました。4位は4年生、5位は大学院・学友会となり、どの学年も最後まで健闘されたと思います。



しかしながら、反省すべきことも多々ありました。特に大学院・学友会との関係でプログラムの変更点が十分に伝わらず、意思疎通の欠如により大変ご迷惑をおかけしたことは反省すべき点であると思っています。また、片付けの時、勤労者体育センターの備品である椅子、スリッパの数が足りないという事態も起こりました。備品を持ち出した人は最後に必ず責任をもって元の場所に戻していただきたいものです。

最後になりますが、実行委員の皆さんをはじめ、自治会役員、大学事務局、各学年の車両提供者、音響スタッフの方々、および責任学年の皆さんご協力いただきましたことを厚く御礼申し上げます。参加者の皆様が怪我もなく楽しい一日を無事に終了出来ましたことを感謝申し上げます。体育祭終了時間も予定していた時間内に終わることができました。

今後、体育祭がより楽しく、より充実したものになることを期待しています。

体育祭実行委員長 3年1班 高橋 英明

## 10月の教養講座から

くらしの中での防災 いざという時 あなたは！  
講師：関西国際大学経営学部講師 林 万平 様

現在、津波・台風・地震・落雷・竜巻・豪雨・土砂崩れの自然災害、地球温暖化・地球汚染による動植物への人為的災害が報道されています。生活は便利で快適な暮らしになってきました。水道・電気・電話・通信は当たり前のように使っています。ところが災害が起これば一変します。これらが使えなくなり、物も命も奪われます。

さて、講師は、実際現地に行かれ体験し情報収集されました。

2010年チリでの津波、2011年東日本大震災の地震・津波（石巻市・大船渡市・名取市・女川町）、2013年のフィリピン台風ハイアン（ギワン町・タナウアン町・タクロバン市）の現地の写真を見ながら分かりやすく解説してくださいました。

東日本大震災では、“津波と聞けば高台へ避難”という知恵で制服を着た企業人による案内で避難することができました。また、企業のBCP（事業継続計画）、および地域に愛着を持った方々の努力によって復興はなされています。

フィリピンのタクロバン市では、市長の強いリーダーシップにより、援助物資を受け入れ、配置・手配された話がありました。

これらは、決して他人事ではありません。“災害は忘れた頃にやってくる。”と言います。避難の際には、キャンプなどの野外活動や、普段の暮らしで培った智慧が役に立ちます。防災用具・避難場所などの確認、地域を知ることでも大事なことがわかりました。そして防災について考えてみる良い機会となりました。有意義な時間を過ごさせて頂き有難うございました。



4年3班 木谷 千幸

## 第34回東・北播磨学ぶ高齢者のつどい

3年1班 競 桂子さんが  
「銀賞」に輝く

東・北播磨地域の高齢者大学や高齢者教室で学ぶ高齢者が、一堂に会し日頃の学習成果を発表し、交流の輪を広げる第34回東・北播磨学ぶ高齢者のつどいが、10月11日（金）に加東市滝野文化会館で、約300人（三木市高齢者大学からは24人）参加して開かれました。午前の高齢者主張大会では「学びと生きがい」をテーマに、加東市など4市の代表者により意見発表がなされました。

作品展では、182点の作品が出品されました。三木市高齢者大学からは、4クラブ「書道」「写真」「匠」「水墨画」から、力作16点を出展しました。審査の結果、水墨画（日本画の部）で競桂子さんの作品「熊野古道」が銀賞を受賞しました。本当におめでとうございます。

作品は11月22日（金）に西播磨文化会館で開催される第34回兵庫県学ぶ高齢者のつどい中央大会に出品されます。

自治会会長 松本 桂





「10月9日、さあ出発だ！」心躍る29名の少年少女たち（心はね）を乗せてバスが動き出した。

1日目の目的地は、北海道の函館。空港から出ると風が冷たく、みんなあわてて上着を羽織る。「さすが北海道だ」と実感する。昼食後、五稜郭タワーに上り星形の公園を見渡す。タワーの上で出迎えてくれた土方歳三の像は、甘いマスクの青年だった。「ここが幕末の戦場だったとは」と遠い昔を偲んでみる。次は、美しい洋館や教会が立ち並ぶ元町通りを、ガイドさんの案内で散策する。緑の屋根の洋館、石畳、坂の下に見える青い海。とてもロマンチックだ。「彼と来たいな」なんてね。函館山は、すごい人だった。必死で階段を上ってなんとか夜景を見ようとする。前の人の頭の間から見た夜景は美しかった。後から聞くと下りたほうがよく見えたそうだ。ホテルに着いてすぐに宴会が始まる。その日は、1班の「しばてん踊り」だけだったが、みんなノリノリで楽しんだ。私も飛び入りで舞台に乱入して踊った。最後は、やっぱり「恋するフォーチュンクッキー」をみんなで踊って、心は一つに。



2日目は、新幹線「はやぶさ16」で、青森に移動する。車内は静かで外は暗く海底を走っている実感はない。その後の「トンネルの体験坑道」の見学で、海底に下りていく感覚と工事の大変さが分かっておもしろかった。竜飛岬は、津軽海峡冬景色の歌から想像していたのとは違って、空と海の青が美しく穏やかな景色が広がっている。「やっぱり旅行は、天気よね。」「私たちの心掛けがいいからだね。」などと笑いあった。次は、ねぶたの家ワ・ラッセの見学だ。「ねぶた」の現物を見て、その迫力と美しさに感動する。2日目にしておみやげの荷物が重くなってきた。みんなもすごい量を買っている。ガイドさんからも「青森の経済に貢献してくださって有難うございます。」と笑われた。夜は、宴会で楽しむ。2班「思い出のアルバム」3班「チコちゃんにさらされる」4班「麦畑」。個人では、手品・どじょうすくい・大道芸とみんな大騒ぎだ。でも、最後の締めくくりは、やっぱり「恋するフォーチュンクッキー」。1日目も2日目も宴会の後には1部屋に全員集まって遅くまで飲んで盛り上がったのは言うまでもない。



3日目は、奥入瀬溪流へ。美しい緑の木々に囲まれて、滝や溪流の流れに心も清められる。少し紅葉も始まっている。八甲田山を間近に見て、新田次郎の小説「八甲田山死の彷徨」を思い出す。十和田湖は、水が綺麗なことが有名で、藍色をしているそうだ。

その後、帰路に着いた。旅行を終えて1番よかったことは、全員元気で旅が楽しめたことだ。そして、私たち4年生は、この旅行を通してさらに絆を深めることができた。

おまけです。旅行で私たちがたのしんだクイズを皆さんに一つ出しましょう。漢字の足し算引き算です。できるかな～？

示+ ([ ]-女) = [ ]-木

4年2班 奥野 敬子

# ク ラ フ 紹 介

## 匠 倶 楽 部

講座のない木曜日に「まなびの郷」の駐車場に着くと校舎の2階東の方から材木を打つ音や削る音が聞こえてくる経験をお持ちの方も少なくないと思います。

匠倶楽部では、年度初めに部員から作りたいものを聞いて年間計画を立てています。また、その都度、作りたいものがあれば自由に製作することにしています。その合間に各種工具の使い方、刃研ぎの方法、塗装の裏ワザなどの匠の技術を教わります。また、「もぐもぐタイム」を設け、作業終了後、30分程でコーヒーやお菓子での一服、皆そろって雑談し部員間での親睦を深めているのも楽しみの一つです。



この度、手を汚さずに削りカスなどを、ポイ捨てできる独自のサイクロン掃除機を作りました。活動の中で懸案でありました後の清掃でチリやほこりを隈なく取り除くために、通常の掃除機では、削りくず・紙ペーパーの擦りくずが細かいために、再三掃除機本体の清掃を行なっていることから、専用のものを作ってはということで・・・(手前みそながら部内からは、大変好評です。)

「ちょっとやってみようか」、「作ってみたい」と思う方は、木工室を覗いて下さい。お待ちしております。

匠倶楽部部長 2年2班 小山 利治



## ラージボールクラブ

## みんなで楽しくBBQパーティー

去年から一泊で親睦会を催していますが、今年は9月10日加東市の「やしろ鴨川の郷」のロッジを借りてBBQパーティーをしました。当日は、午前中体育館で練習のあと解散し、BBQを始める6時まで食材、飲物などの買い出し、調理をするとともに、手の空いた人はグラウンドゴルフ、おしゃべり、お酒の味見などでゆったりと過ごしました。6時に参加者17人が集合しBBQをしましたが、みんなで協力して「お金掛けずに、ひま掛けて」の精神で若い時にキャンプに行ったようで楽しい一日でした。



ラージボールは幼児から高齢者まですぐに楽しめるスポーツとして、今から30年ほど前に日本で誕生しました。現在、クラブ員は35名(学生21名)です。活動日は登校日の放課後3時から5時まで、また登校日以外の火曜日9時から12時まで高大体育館で、和やかな雰囲気の中で、「楽しく」をモットーに活動しています。

ぜひ、登校日の放課後に体育館をのぞいてみてください。笑い声や奇声で賑やかに盛り上がっています。とにかく楽しく明るいクラブです。

2年1班 戸田 陽子